バイオメディカル インターフェース コミュニティー　Biomedical Interface Community (BMIC)

Biomedical Interface Community (BMIC)

バイオメディカル インターフェース コミュニティー

医師をはじめとする医療従事者による問題提起と、描写(芸術系分野)、解析(情報系分野)、認識(医療系分野+心理学系分野)、可視化(生物・工学系分野)の分野の研究者の直接対話により、Biomedical/Non-Biomedicalのインターフェースで革新的な医療技術の創出を狙うコミュニティーです。

2026 Biomedical Interface Workshop
17th バイオメディカルインタフェース・ワークショップ
2026 年 2 月 28 日(土)～3 月 2 日(月)

場所: イーフ情報プラザ (久米島町)
主催: BMIC

参加費
一般： 7000 円(不課税)
学生： 3000 円(不課税)

日程

2 月 27 日(金)
18 時- 運営委員会(場所未定)

2 月 28 日(土)
12:30-17:00　BMI2026 テクニカルセッション
18:30-　懇親会　場所:波路(なみじ)　久米島町謝名堂 548-32

3 月 1 日(日)
09:00-13:20　BMI2026 テクニカルセッション
15:00-17:00　ポスターセッション、ラウンドテーブルディスカッション

3 月 2 日(月)
09:00-11:30　BMI2026 テクニカルセッション
14:00-17:00　ラウンドテーブルディスカッション、研究打ち合わせ

＊ プログラム ＊

2 月 27 日(金)

18:00～　　運営委員会（場所未定）

2 月 28 日(土)

09:00～11:00　サテライトシンポジウム　（場所未定）
「BMI をデザインする ver. 2026」

12:30～ 受付、ポスター掲示
※ ポスターは適宜掲示をお願いいたします。
※
13:00～ Opening Remarks（曽我 公平）

セッション 1 a（13:20～15:00）

13:20～　森根 逸心（琉球大学大学院理工学研究科システム情報工学プログラム）
教師なし学習による変数選択法に基づく結腸がんと直腸がんを識別する遺伝子群の特定と多がん種分類への応用

13:40～　林 光希（日本医科大学付属病院・消化器外科）
CTC 分離実験の成果とさらなる分離効率の向上に向けて

14:00～　梅津 光央（東北大院工・バイオ工学）
AI と実験的操作の調和による抗体分子開発

14:20～　前薗 葉月（大阪大学大学院歯学研究科・歯科保存学講座）
感染根管バイオフィルムの再現に向けたモデル構築と制御戦略の検討

14:40～　渡邊 敏之（東理大先進工・機能デザイン）
放射線入院病室での急変対応学習用 VR 教材の UI 設計と操作性評価

セッション 1 b（15:20～16:40）

15:20～　青木 伊知男（量子科学技術研究開発機構・量医研）
Review of Physical Intervention for Chronic Pain Relief

15:40～　山田 岳史（日本医科大学・消化器外科）
Multimodal Liquid Biopsy (MLB)の意義と課題

16:00～　上原 圭（日本医科大学付属病院・消化器外科）
直腸癌局所再発の予後予測と治療最適化 ― 大規模多施設データは数理モデルでどう扱えるか ―

16:20～　南出 竜典（東京大学医科学研究所・先端消化器内視鏡学分野）
人工真皮を用いた消化管粘膜欠損保護法の有効性に関する研究

17:00～　池松 弘朗（東京大学医科学研究所・先端消化器内視鏡学分野）
大腸がん死亡者数減少を目指して

懇談会（18:30～）　場所：波路（なみじ）　　久米島町謝名堂 548-32

3 月 1 日(日) 09:00-13:20

9:00～　受付、ポスター掲示

セッション２a（09:40～11:40）

09:40～　　芦刈 明日香（琉球大学・腎泌尿器外科）
トイレ後付け型自動排尿モニタリングシステムの開発 ― 排尿日誌自動化と夜間頻尿を起点とした生活習慣病改善のための行動変容を目指す ―

10:00～　　宮里 実（琉球大学医学部・医学科）
低出力体外衝撃波療法の改良と排尿機能障害への臨床応用展開

10:20～　　青木 悠人（日本医科大学千葉北総病院・消化器外科）
肝切除術中胆汁漏検出のための機械学習を用いた画像解析システムの開発

10:40～　　須賀 一博（工学院大工・機械工）
創造性はデザインできる：「事実」×「戦略」×「個性」

11:00～　　健山 智子（琉球大学工学部・工学科知能情報コース）
物理的投影に基づく CT 画像の特徴射影による CXR 上の心膜外脂肪の解析：CTR 評価の客観化に向けた検討

セッション２b（11:40～13:20）

11:40～　　若林 英行（キリンホールディングス株式会社・飲料未来研究所）
美味しさの感じ方と性格の関係について～食品のお客様調査の方法とその応用～

12:00～　　大山 慎太郎（名古屋大学/琉球大学・医学部）
医療情報技術を用いた安全な個人情報管理とデータ利活用を軸とした沖縄と名古屋で進める医工連携

12:20～　　池田 善久（愛媛大院理工・電子情報工学専攻）
水中に届けるプラズマ活性種は生物成長を変えるのか？

12:40～　　北野 勝久（大阪大学工・環境エネルギー）
そろそろ打ち止めか過硝酸殺菌技術なう

13:00～　　曽我 公平（東理大先進工・機能デザイン）
ロボットは見ている、ロボットに見せられる、見せたいバイオメディカルイメージ

ポスターセッション

P1　　和泉 諒祐（愛媛大院理工・理工学専攻）
機械学習による金属ナノ粒子複合体輝点の散乱スペクトル分類を用いた標的分子検出

P2　　健山 智子（琉球大学工学部・工学科知能情報コース）
口唇口蓋裂の形態評価に向けた知識誘導データ駆動学習の提案

14:00～17:00　　ラウンドテーブルディスカッション（場所未定）

3 月 2 日(月) 09:00-11:30
09:00～ 受付

セッション３（09:30～10:50）

09:30～　Tay Zhiwei（産業技術総合研究所・健康医工学研究部門）
磁性ナノ粒子を用いた診断治療技術

09:50～　長田 健介（QST・量子医科学研究所）
がん間質をすり抜けられる最小サイズの siRNA DDS を創ろう

10:10～　真田 原行（情報通信研究機構・脳情報通信融合研究センター）
社会的同調性の神経基盤：脳波同期による社会的バイアスの可視化

10:30～　鎮西 清行（産業技術総合研究所・健康医工学研究部門）
手術ロボットログデータの活用 2026

10:50～　座古 保（愛媛大院理工・化学）
タンパク質アミロイド凝集多型の謎

11:10～　Closing Remarks（竹村 裕）

14:00～17:00　ラウンドテーブルディスカッション、研究打ち合わせ（場所未定）